

はじめに

法人は、昨年7月に多根一之理事長が就任し、2040年に向けて新たなステージに踏み出したところです。

他方、医療・介護の役割分担とより一層の多職種連携が求められ、社会医療法人きつこう会との更なる連携を深めるべく、アクションプラン共催、法人間連携の検討を含む連携会議の定期開催、人事異動を含む人事交流など、これまで以上に積極的に取り組みました。

具体的には、第2回アクションプラン☆グランプリの共催、多根総合病院から併設診療所への泌尿器科および皮膚科医師の月1回定期診療開始、多根第二病院や多根老人保健施設てんぼ一ざんからの入所者8名の受け入れ、看護師3名の出向者受け入れと多根第二病院への事務職員1名の出向、その他共通会議の定期参加や介護職員研修の共催、新型コロナウイルス感染症発生時の多根総合病院感染防御チームとの連携、入所者PCR検査実施のための看護部との教育連携、また、居宅介護支援事業所間での事例検討会の共催など、あらゆる場面での連携強化に努めました。

また、昨年度後半からの新型コロナウイルス感染症は、昨年9月のコスモスガーデンにおける4名の感染者の発生、昨年12月の江之子島コスモス苑における9名の感染者の発生（うち1名死亡）と、法人運営に多大な影響を与え、施設や事業所内での様々な行事や地域活動行事などが計画通りほとんど実施することができなかったこと、地域の方々との連携がほとんどできなかったこと、また、これまでに例のない収益の悪化を招きました。

このように新型コロナウイルス感染症対策中心の法人運営でしたが、一方、3年後のビジョン『地域住民、利用者、その家族から「愛」される法人・施設となるよう取り組み、地域包括ケアの推進に貢献する。』の初年度として各事業が、5つの視点（地域貢献・顧客・財務・業務プロセス・人財育成）で取り組みました。また、各視点の推進担当者を配置、推進体制と各委員会体制の再構築を図り、着実な実行を図るべく取り組みました。

一方、新型コロナウイルス感染症を契機として、危機管理対応体制の再構築も行い、新型コロナウイルス感染症対策はもちろんのこと、防災委員会、安全対策委員会の推進体制の再構築も図った。具体的には、これまで委員会が報告会になっていたところを、意見交換を主眼として設定し、現場職員がより考えることができるよう危機管理への対応強化に努め、安全対策委員会においては事故件数の減少などの成果が出始めました。

令和2年度の各視点における、取り組み状況などは以下のとおりです。

(1) 地域貢献の視点

上半期は新型コロナウイルスの影響を受け、計画していた地域貢献活動は全くできませんでした。下半期においても地域ボランティアの受け入れや就労支援の取り組みなどはできませんでしたが、ウイズコロナの視点で創意工夫を凝らし地域清掃や屋外でのカフェ、オンラインを活用した研修開催、園児に向けたDVD作成などに取り組みました。

(2) 顧客の視点

認知症ケアマニュアルは更新を行えました。排泄と食事のマニュアルは委員会を立ち上げ、援助方法の再確認と一部の手順書を用意出来ましたが、マニュアルとしては未完成となりました。令和3年度アクションプランの取り組みと合わせて完成させる予定です。

接遇リーダー研修を通して、現状の接遇マナーの評価と見直しを行いました。

(3) 財務の視点

新型コロナウイルスの影響により、年間を通して計画的な予算の執行と安定的な収入のための取り組みはできませんでした。下半期には、令和3年度に向けての新たな介護保険事業計画の趣旨を踏まえた中長期事業計画の策定と、災害や感染症が発生したとしても安定的な法人運営ができるような仕組みの構築に向けての情報収集に取り組みました。

(4) 業務プロセスの視点

介護機器の活用では、下半期から新たにリフトリーダー会議を開始し、介護リフトの安全かつ積極的な運用に力を入れて取り組みました。特養では介護リフト5台を活用することで、介護職員の介護負担の軽減につなげることができました。その成果もあり、腰痛で仕事を休む職員等はいませんでした。

一方、働き方改革への取り組みとして、令和2年度は勤務時間短縮1日15分を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症対応時を除いて、超過勤務時間が増加することもなく、順調に定着してきました。また、江之子島コスモス苑の1階に喫煙室を設置し、入所者ともども喫煙者へ対応しました。

さらに、同一労働同一賃金への対応として令和3年度からの非常勤職員・嘱託職員の就業規則の改定の準備を整えました。

(5) 人材育成の視点

個別研修計画については、書式と対象者を決め令和3年度からの実施の準備を整えました。

また、関係職員（統括施設長および部門長他）が、常勤職員69名に対して個別面談を行い、個別のキャリア形成を確認しました。

さらに、「キャリア方針書」は令和3年度早々に第9版へ改訂する準備も整えました。

一方、令和3年度へ向けて介護職員が1名も採用できなかつたことが令和3年度の最大の課題として残りました。

(6) 新型コロナウイルス感染症対応（要約版）

①新型コロナウイルス感染症発生事象

- ・コスモスガーデン 令和2年9月 4名の入所者罹患・濃厚接触者職員2名
感染経路：入所者1名の感染による施設内持ち込み
- ・江之子島コスモス苑 令和2年12月 入所者8名・短期入所（通所介護も利用）1名の計9名罹患
感染経路：短期入所者1名の感染による施設内持ち込み

②具体的対応

- ・定期的な委員会の開催、職員への適宜の情報提供、施設事業毎のレベル分け実施
- ・法人主導による防護具の確保
- ・会議や研修などのオンライン対応に伴う備品などの整備
- ・職員への慰労金の支給申請（1名あたり5万円支給）
- ・新型コロナかかり増し経費支給（909万円）
- ・新型コロナ発生時継続支援事業支給（639万円）
- ・全国老人福祉施設協議会見舞金（3事業計70万円）

1. 特別養護老人ホーム事業

令和2年度は、最期まで自分らしく生活できるように「科学的根拠に基づいた介護の実践と個別ケアの充実」を目標としていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防に取り組む事が一番の課題に変わりました。施設内への人の出入り方法の見直しや、介助方法の見直しを行いましたが、新型コロナウイルス感染症の発生と拡大を防ぐことが出来ず、入院者の増加と新規入所の受け入れ停止期間が発生し、目標としていた稼働率97.3%（年間延べ利用者数36,935名）に対し、稼働率93.7%（年間延べ利用者数35,569名）と目標を達成することができませんでした。このような中でも、看取りケアの方法について変更を行いながら、退所者32名中27名の入所者を施設で看取らせていただきました。

地域貢献の視点

地域交流の場として開いていた「こすもすカフェ」「モーニング・カフェ」「カラオケ喫茶」の開催は出来ませんでした。が、感染対策をふまえた上で屋外で実施する「焼き芋カフェ」「お散歩カフェ」を各1回実施できました。ボランティアの受入も困難となりましたが、食事パート職員がボランティア活動を行っていたため、その方々のみの受け入れを行いました。世代間交流も思う様に計画出来ず、屋外と屋内で接触しない形で1回のみの実施となりました。

顧客の視点

面会方法の見直しが必要となり、大阪府の対応方針に従いながら、1階での直接面会とビデオ面会を設定し、利用者と家族の繋がりを継続させ不安軽減につなげました。又、看取り期の方に対しては、出来るだけ直接面会出来るように工夫を行いました。

介護職員による排泄と食事委員会を立ち上げましたが、介助方法の確認を行うまでの動きとなり、マニュアル整備までは進みませんでした。認知症マニュアルは改訂版を作成し、個別ケアに繋がりました。

財務の視点

排泄委員会を通して、コスト意識を持って介助方法と排せつ物品の見直しをすすめていましたが、コストダウンには繋がりませんでした。

新型コロナウイルス感染症の発生を防げなかったため、大きな減収となってしまいました。

業務プロセスの視点

「腰痛予防委員会」で検討された移乗用介護リフトの活用を増やし（現在使用者15名）、重度化した現場に対する介護職員の負担軽減に努めました。

今年度から勤務時間の短縮がありましたが、業務改善と人員補充により残業時間を減らす事ができました。

人財育成の視点

全職員を対象とした感染症予防に対する知識の向上にむけた実技研修や、効果的な手指消毒を学ぶ取り組みを行いました。新型コロナウイルス感染症の発生は防げませんでした。が、発生時に正しく対応する事ができ、職員が1名も感染しないことに繋がりました。

また、ベトナム人留学生のスキルアップを考えて、教育や指導方法の検討を行いました。

栄養管理

コロナ禍の中、定例に行ってきた行事食等も中止を余儀なくされたものもありましたが、外出や面会等の制限の中で、せめて食事楽しんでいただければと、少人数での行事食のバリエーションを増やしたり、現状で行える形の物へ変更したりと工夫して行いました。その中で得る個人の情報を、栄養ケアマネジメントや日々の食事に生かし、反映させることができました。

2. 居宅サービス事業

地域包括ケアシステムの一端を担う事業所として、地域に根ざした信頼される事業所を目指し、地域貢献、顧客、財務、業務プロセス、人財育成の5つの視点を意識して各事業に取り組みました。新型コロナウイルス感染拡大予防の影響もありましたが、各事業ともに創意工夫を重ね事業計画に取り組みました。しかし、数値目標も含め、多くの計画について計画通り達成する事ができず、コロナ禍における事業活動のあり方について試行錯誤の1年となりました。

(1) 短期入所生活介護（ショートステイ）

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、家族の用事が減りサービスの必要性がなくなったり、利用自粛があり、キャンセルが増えました。又、時期によっては新規の受け入れを制限し、受け入れ基準も厳しくした事に加え、新型コロナウイルス発生による事業停止や、再開後の利用フロア限定による受け入れ居室の減少など、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受け、目標としていた稼働率平均14.8名/日（年間延べ利用者数5,426名）に対して、平均11.6名/日（年間延べ利用者数3,988名）と目標を達成することができませんでした。

利用者は年間で34名（うち西区の方26名）と新規の契約を結ぶことができ、そのうち、32名の方を新規の利用につなげることができました。

大阪市認知症高齢者緊急ショートステイ事業（居室確保業務）では、年間5名（延べ利用日数85日）の対応にあたりました。

(2) 通所介護（高齢者デイサービス）

年度初めは新型コロナウイルス感染拡大予防のため、利用者に対し利用の自粛要請を行ったことや利用者側からの利用自粛もあり稼働率の大幅な減少がありました。夏から秋にかけて稼働率回復の傾向がありましたが、12月の新型コロナウイルス感染者発生に伴い大幅に稼働率は低下し、その後も利用制限も含めた感染予防対策を強化したこともあり稼働率の回復には至らず、目標としていた年間延利用者数8,397名に対し、7,337名、1日平均利用数27名に対し23.9名と目標を達成することができませんでした。

また、ボランティアや実習生などの受け入れができず、地域との繋がりや福祉人材の育成に貢献することができませんでした。

(3) 認知症対応型通所介護（コスモスのかぜ九条南）

認知機能の維持や進行予防、生活機能向上に重点をおいた在宅生活継続支援型デイサービスとしての取り組みを強化することで、利用者の満足度向上に努めた事や、新型コロナウイルス感染拡大予防に伴う利用自粛などの影響が少なかった事もあり、稼働率の大幅な減少には至りませんでした。目標としていた延利用者数1,973名に対し1,737名、1日平均利用数7.6名に対し6.7名と目標を達成する事はできませんでした。

また、盆踊りをはじめとした相次ぐ地域行事の中止や「認知症カフェ（オレンジカフェつどい）」「シニア料理教室」の中止、「運営推進会議」の書面開催への変更などで地域と関わる機会が大幅に減少し、事業所が目指す「地域に密着した認知症デイサービス」に対する活動が行えませんでした。

(4) 在宅介護支援センター（居宅介護支援事業所含）

花乃井ブランチは西区地域包括支援センター総合相談窓口として専属の相談員を配置することで、大阪市の設定する目標相談件数600件を上回る781件の相談に対応することができました。また、居宅介護支援事業については特定事業所加算Ⅱの算定は維持できたものの、目標ケアプラン数2,100件に対し2,037件と目標達成には至りませんでした。が、前年度より大幅にケアプラン数を増加することができました。

各種関係者との連携および地域活動として、幼稚園、保育所での福祉教育、認知症カフェへの参加、認知症サポーター養成講座の定期開催、圏域マンションでの出張講座などは、新型コロナウイルス感染拡大予防のために、行うことができませんでしたが、定期的に広報誌を送付するなどして地域との繋がりが途切れないよう取り組みました。

(5) 地域包括支援センター（中央区北部）

総合相談件数は7,049件、相談実人数は596名、介護支援専門員からの相談件数も1,678件と年々相談件数も増加傾向にあり、地域の総合相談窓口としての役割を果たすことができました。

高齢者虐待や処遇困難ケースに対しては地域ケア会議（個別・振り返り・まとめ・自立支援型含む）を24回・サービス利用調整会議を17回行い、行政や地域の関連機関と連携により問題解決を図りました。

しかしながら今般のコロナ禍において、これまで同様の活動は困難となったため、オンラインによる研修会や会議開催など今できることを見い出しながら、中央区認知症支援ネットワーク（C o C o ネットちゅうおう）や中央区地域ケアWEB研修会、各介護保険事業所の連絡会及び介護家族の会などの事務局として、引き続き地域のネットワーク作りに貢献しました。また、地域福祉コーディネーターや民生委員との連携強化を図り、地域住民の方々とのつながりが途切れることのないようこれまで培ってきたネットワークを活かしながら取り組みを継続しました。

指定介護予防支援事業者として月平均36.5件/北部包括、月平均357.0件/一部委託の指定介護予防（第1号介護予防支援含む）ケアプランに携りました。

事業評価については、大阪市の評価基準を全て満たし、応用評価についても10点満点で昨年度同様の評価を受けることができました。

(6) 認知症初期集中支援推進事業（中央区北部）

認知症の疑いがある方々のファーストタッチを集中的に行う事業として、40名に対して支援を行いました。また、認知症に関わる相談件数は2,561件となり事業の認知度も高まりました。医師を交えたチーム員会議を12回、処遇困難ケースに対して開催される地域ケア会議（個別・振り返り・まとめ含む）を17回（うち他包括圏域主催8回）、事例検討会を2回、いきいき連携会議での事例提供・検討会の開催・参加することで、行政や地域の関連機関と連携し、問題解決を図り、活動基盤の強化に取り組みました。

行政や地域関係者の協力のもと、ウェブページなどでチラシ掲載や、スーパー・駅の掲示版などでのポスター掲載、感染対策を行いながらカフェや商店、企業へ強化型地域包括支援センターと連携した広報・普及啓発活動に取り組むことで、相談ケースの増加につなげることができました。

3. 診療所事業

特養入所者、ケアハウス入所者の健康管理に努めました。昨年同様にインフルエンザ予防接種を積極的に行い、また、感染症対策に努めました。

4. ケアハウス コスモスガーデン

入所者一人ひとりができる限り長く住み慣れた施設で暮らし、自分らしい生活が継続できるよう、新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら個別のニーズに応じたサービスの提供に努めました。要介護認定を受けている方は27名、うち介護サービス利用中の方は22名でした。

9月に入所者4名の新型コロナウイルス感染症の陽性が判明し、その後は感染症対策を強化したこともあり一人も陽性者を出すことはありませんでしたが、地域住民との交わりやボランティアの受け入れ等ができず、地域における公益的な取組を実施することができませんでした。

地域貢献の視点

新型コロナウイルス感染症予防対策として館内入室制限を行った結果、地域住民を交えた活動が行えませんでした。

入所の問い合わせや介護に関する相談に対して、情報提供を行い支援に努めました。入所の問い合わせは年間23件、うち面談実施は3件で待機者は30名です。

顧客の視点

出来る限り長く施設生活を継続できるように、新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら介護予防を目的とした取り組みを支援しました。介護予防活動の一環として、館内放送でのラジオ体操（1日：2回）や食堂でのガーデン体操（年3回）を実施しました。また、入所者向けに発行している「ガーデンだより」では『頭の体操』記事を連載するなど、認知症の予防啓発活動にも努めました。

認知症に関する相談や認知症の疑いのある方に対して、個別相談や認知症の症状に応じた対応を職員間で検討することができました。

顧客満足度調査、嗜好調査を年1回実施し、サービスの向上に努めました。調査ではコロナ禍における生活の変化についても触れて調査を実施しました。

財務の視点

入所待機者の状況調査を年2回実施し、状況を把握することで、安定した運営を目指しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて入所希望者の数が一時的に減少しました。年間利用率は98.8%でした。

老朽化した設備を修繕計画に基づいて修繕しました。特に予定外の大規模修繕工事などはなく、予算内で執行することができました。

業務プロセスの視点

これまでの業務の進め方やマニュアルを見直すことで、業務の統一化、業務効率の向上を図りました。また、新型コロナウイルス感染症発生に備えて、平時・有事のそれぞれの業務を整理するなどして感染症対策に努めました。

人財育成の視点

施設内研修では、研修後に研修で学んだことを振り返り、更なる技術向上を目指し、感染症発生時や緊急時の対応に活かすことができました。

〔資料編〕

1. 特別養護老人ホーム事業

①入所者利用状況 (R2. 4. 1~R3. 3. 31)

ア. 平均年齢：R3. 3. 31 現在 ()内前年度

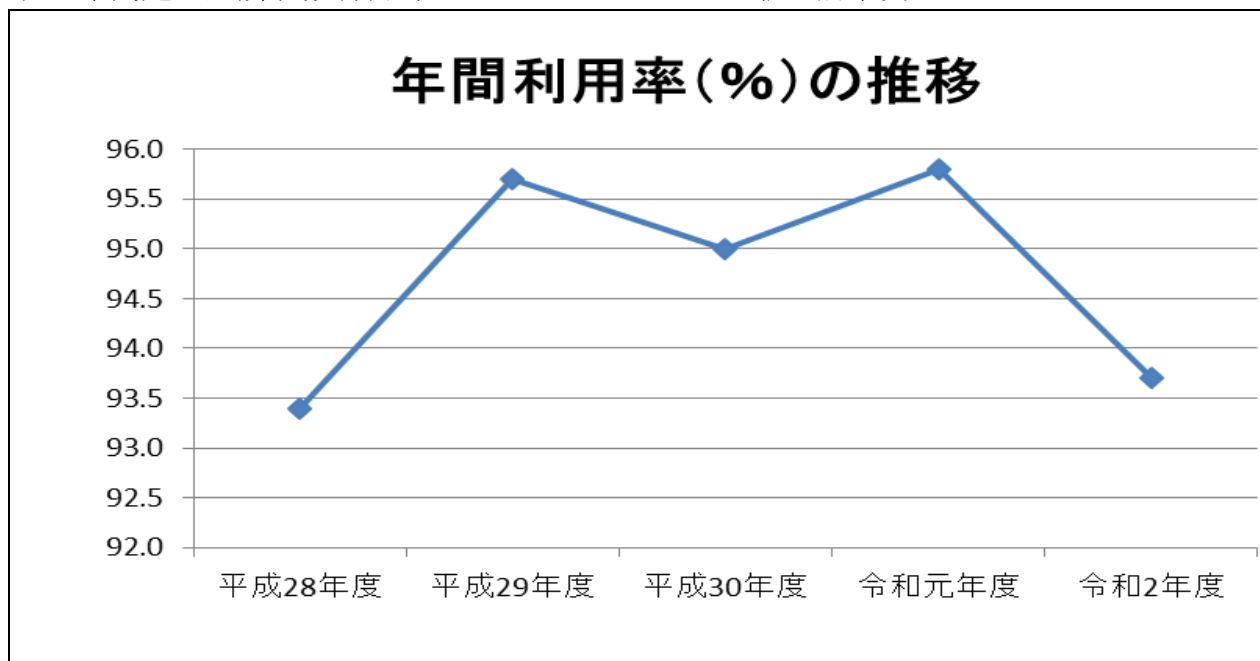
男性	20名・83.6歳	女性	80名・88.6歳	平均年齢	87.6歳(87.5歳)
----	-----------	----	-----------	------	--------------

イ. 日常生活動作調査 (対象者 100名) R3. 3. 31 現在

区分	移動			食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助
実数(名)	25	22	53	56	19	25	8	47	45	1	46	53	6	44	50

区分	整容			意思疎通			寝返り			車いす使用			認知症老人数
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	
実数(名)	10	40	50	45	39	16	45	24	31	15	15	48	86

ウ. 年間延べ入所者数合計等：R2. 4. 1~R3. 3. 31 ()内前年度



年間利用率 (%)	(95.8)	93.7	
年間延べ利用者数合計 (名)	(36,415)	35,569	
介護度別	要介護度1 (名)	(0)	0
	要介護度2 (名)	(0)	335
	要介護度3 (名)	(6,816)	6589
	要介護度4 (名)	(15,833)	15,622
	要介護度5 (名)	(13,766)	13,023
年間延べ入院及び外泊者数 (名)	(947)	926	
年間延べ空床数 (床)	(694)	1,376	
年間退所者数 (名)	(29)	32	

エ. 退所者の状況：R2. 4. 1～R3. 3. 31 単位：名

帰宅	他施設に移転	病院に入院	死亡(うち看取り)	その他	合計
0	0	3	27 (18)	2	32

オ. 苦情相談の状況：R2. 4. 1～R3. 3. 31 ()内前年度

苦情相談	2件 (2件)
------	---------

②主な行事および活動

ア. 行事

日付	行事名	備考
6月16日	鉄板まつり	1階の喫茶ルームでたこ焼き、焼きそばを焼き、屋台の雰囲気を見て頂き、その後、各フロアで召し上がっていただきました。
7月16日	おみこし巡行	地域の祭り、施設の夏祭りが実施出来ないため、施設のおみこしが各フロア巡行し、お祭りの雰囲気を味わっていただきました。
7月20・22日	すいか割り	夏の風物詩、「すいか割り」を、職員が作成した西瓜の模型を使い、各フロアで楽しんでいただきました。
9月10日	敬老祝賀会	職員有志による音楽隊が各フロアで演奏を行い、敬老のお祝いを行いました。
10月14日	てのひら保育園との交流	敬老のお祝いと、コロナ禍を乗り越える応援を込めて園児が来苑し、1階喫茶ルームと屋外とのガラス越しでの交流を図りました。
11月5・12・19日	秋の味覚まつり	焼き芋を各フロアで焼き、秋の味覚を楽しんでいただきました。
2月3日	節分	昔からの風習である豆まきを豆のかわりにボールを投げ、楽しく今年一年の厄払いを行いました。
11月	にぎりずし	1階の喫茶ルームでできたてのにぎりずしを召し上がっていただきました。
2～3ヶ月に1回	特別なおやつ	行事が減少する中で、おやつの時間に、焼き芋・焼きとうもろこし・ソフトクリーム等、特別なおやつをフロア単位で提供して、楽しんでいただきました。
8月～10月	フロアレク	全体行事が行えない中で、フロア毎に規模の大きいレクリエーションを企画し、楽しんでいただきました。(演芸大会・運動会・喫茶)
月3回	ホーム喫茶	感染予防に努めながら、1階喫茶ルームで行う喫茶は継続し、入所者の方に楽しんでいただきました。

イ. 面会・外出・外泊状況集計表：R2. 4. 1～R3. 3. 31

月平均面会回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
1名	13名	19名	37名	11名	20名	31名

外出回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
0名	0名	0名	0名	0名	0名	100名

外泊回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
0名	0名	0名	0名	0名	0名	100名

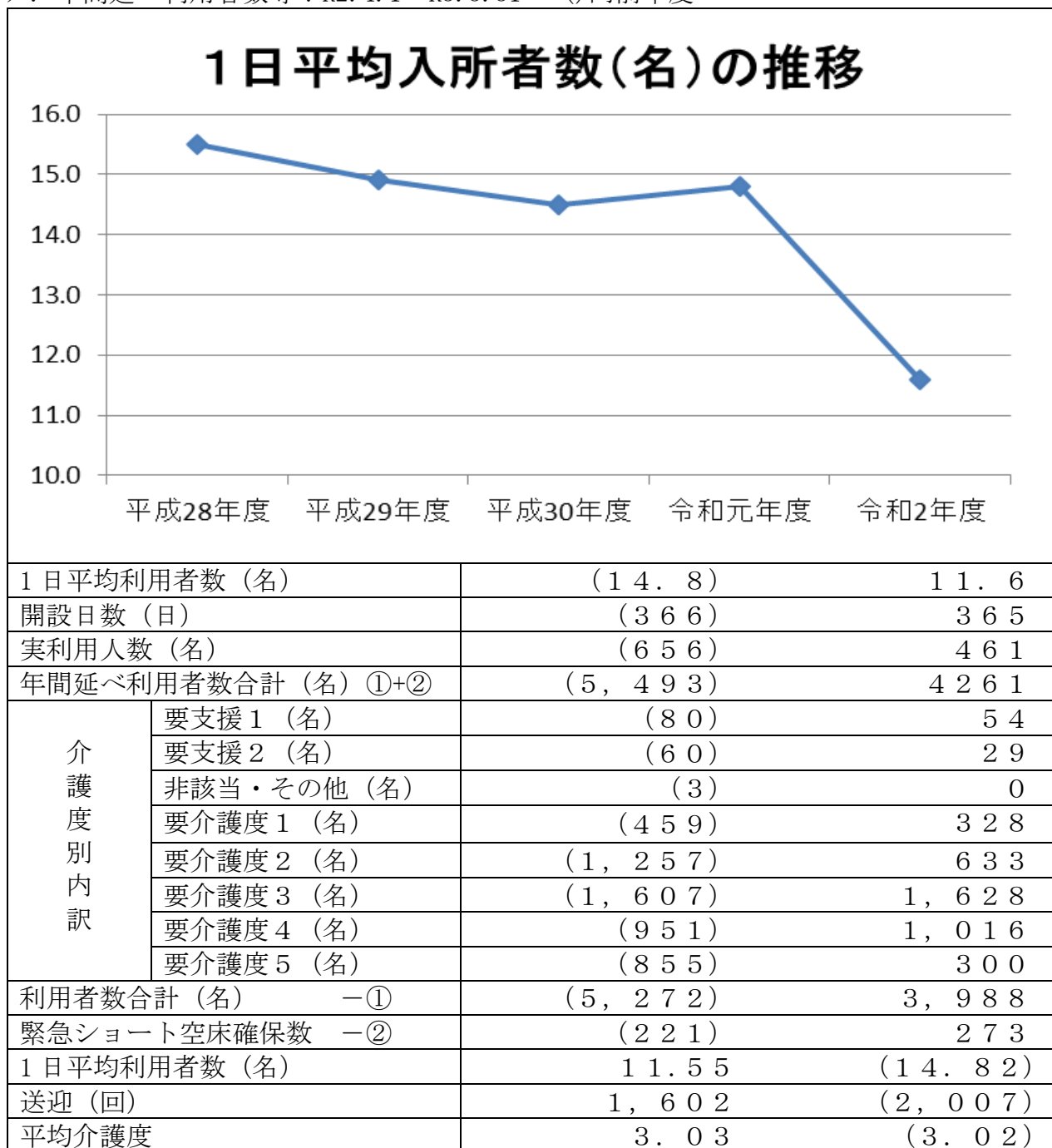
ウ. 自衛消防訓練等実施状況

年 月 日	内 容	備 考
令和2年4月15日	自衛消防訓練(4F談話室) 昼間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
令和2年6月17日	自衛消防訓練(4F談話室) 昼間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
令和2年9月16日	地震防災訓練(津波想定) 昼間想定	被災・対策本部設置・防災 活動隊編成訓練
令和2年10月21日	自衛消防訓練(4F談話室) 夜間想定	消火・通報・避難・誘導訓練
令和3年2月17日	地震防災訓練(津波想定) 昼間想定	被災・対策本部設置・防災 活動隊編成訓練

2. 居宅サービス事業

(1) 短期入所生活介護（ショートステイ）

ア. 年間延べ利用者数等：R2. 4. 1～R3. 3. 31 ()内前年度

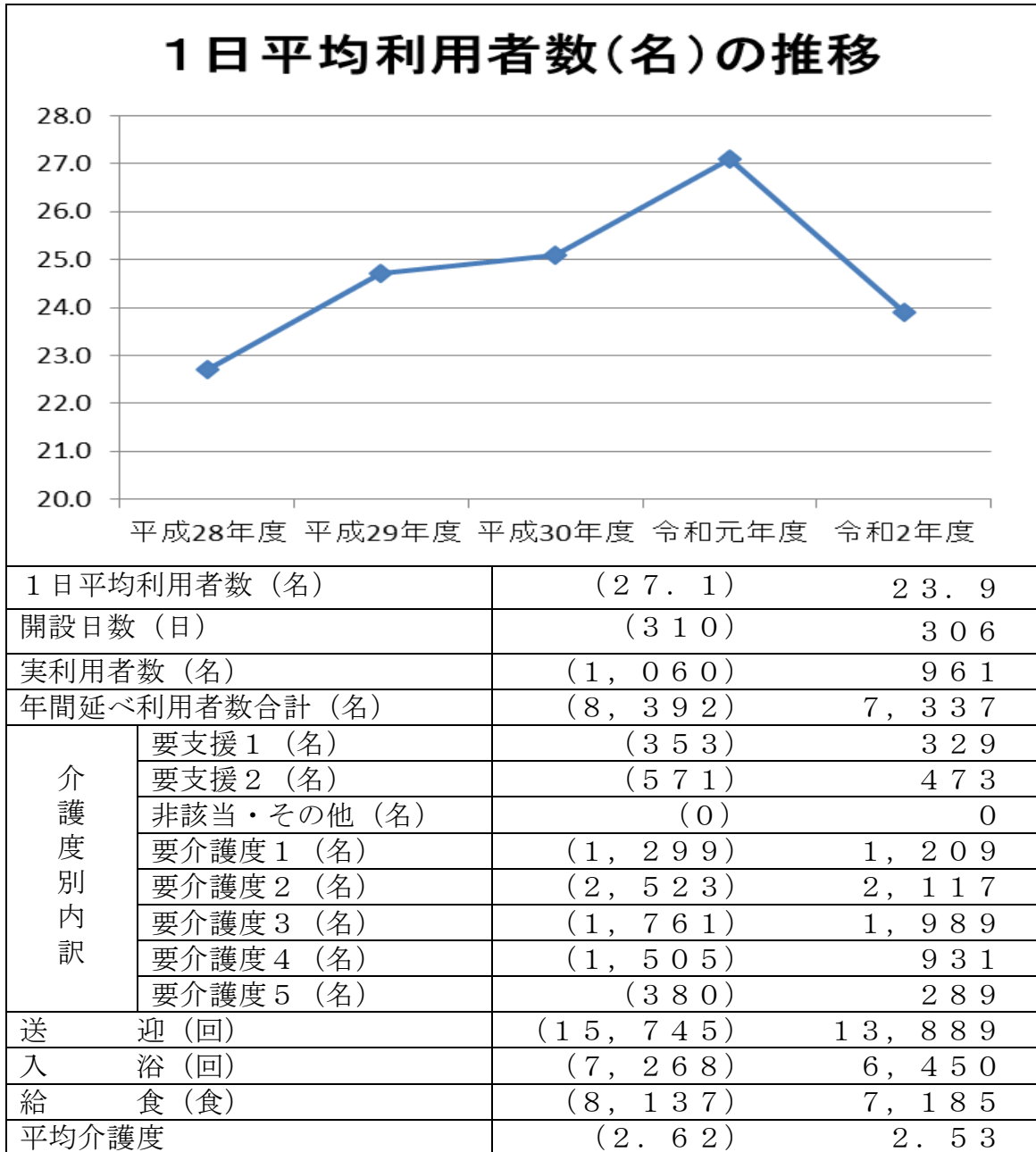


イ. 苦情相談の状況：R2. 4. 1～R3. 3. 31 ()内前年度

苦情相談	1件(0件)
------	--------

(2) 通所介護（高齢者デイサービス）

ア. 年間延べ利用者数等：R2.4.1～R3.3.31 （）内前年度



イ. 実利用者数月毎推移表：R2.4.1～R3.3.31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数(名)	73	71	80	88	84	85	87	85	84	75	75	76

ウ. 利用者の状況：R3.3.31現在

	一人暮らし 世帯	高齢者 世帯	子ども(家族) と同居	その他	合計
合計(名)	25	11	40	0	76

エ. 主な行事

- ・お花見（江之子島公園）：中止
- ・夏祭り週間：8月10日（月）～8月14日（金）
- ・敬老週間：9月12日（月）～9月17日（土）
- ・ビンゴ大会：12月15日（火）・1月16日（土）
- ・節分：2月6日（土）

オ. 誕生日会

- ・毎月開催（誕生日者のみケーキを選んで頂き、おやつ時に召し上がる）

カ. クラブ活動

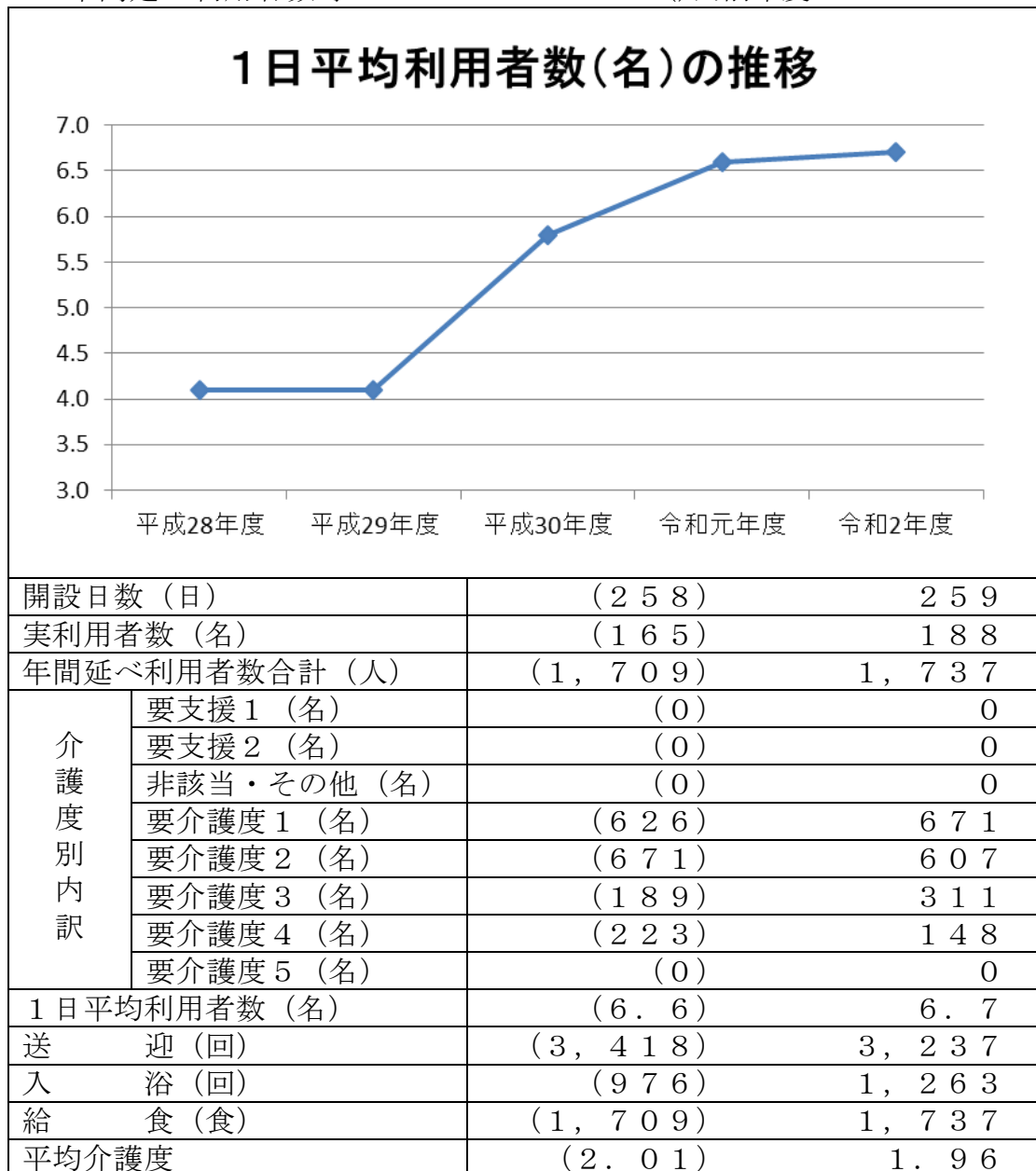
- ・脳トレ、書道・ペン習字、運動、モノ作り、手芸の各クラブ活動を実施

キ. 苦情相談の状況：R2. 4. 1～R3. 3. 31 （）内前年度

苦情相談	1件（1件）
------	--------

(3) 認知症対応型通所介護（コスモスのかぜ九条南）

ア. 年間延べ利用者数等：R2. 4. 1～R3. 3. 31 （）内前年度



イ. 実利用者数月毎推移表：R2. 4. 1～R3. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数（名）	16	15	17	18	15	15	15	15	15	16	16	15

ウ. 利用者の状況：R2. 3. 31現在

	一人暮らし 世帯	高齢者 世帯	子ども(家族) と同居	その他	合計
合計(名)	5	5	5	0	15

エ. 主な行事

- ・誕生日会：毎月
- ・お花見（外出行事）：中止
- ・端午の節句（菖蒲湯）：5月4日（月）～5日（火）
- ・バラ園（外出行事）：中止
- ・西中学校との交流会：中止
- ・九条南盆踊り大会：中止
- ・敬老会（行事食）：9月21日（月）
- ・多根保育所世代間交流：中止
- ・クリスマス会（行事食）：12月24日（木）～25日（金）
- ・餅つき大会：中止
- ・初詣（茨住吉神社）：中止
- ・節分（行事食）：2月3日（水）
- ・ひな祭り（行事食）：3月3日（水）

オ. コスモスのかぜ九条南運営推進会議の状況：R2. 4. 1～R3. 3. 31 ()内前年度

3回（4回）	書面での回答
--------	--------

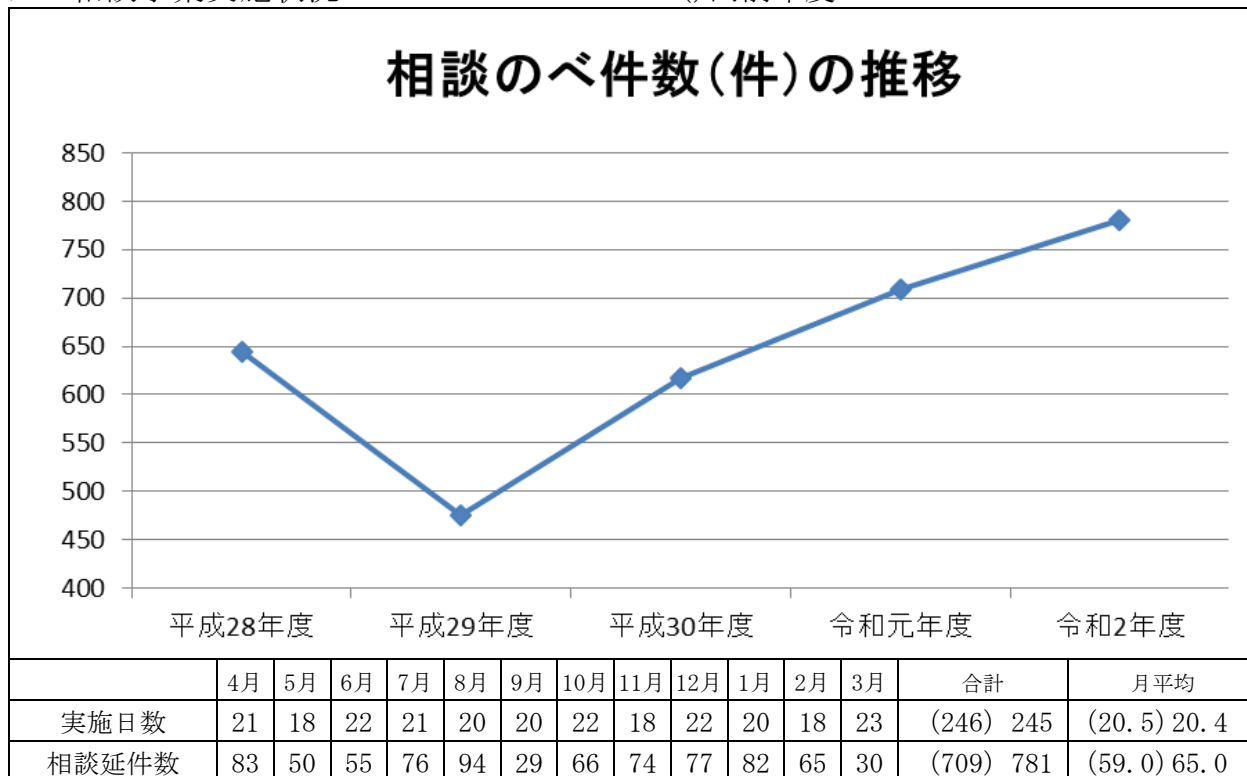
カ. 苦情相談の状況：R2. 4. 1～R3. 3. 31 ()内前年度

苦情相談	0件（0件）
------	--------

(4) 在宅介護支援センター(居宅介護支援事業含)

①在宅介護支援センター事業

ア. 相談事業実施状況：R2. 4. 1～R3. 3. 31 ()内前年度



イ. 相談内容：R2.4.1～R3.3.31

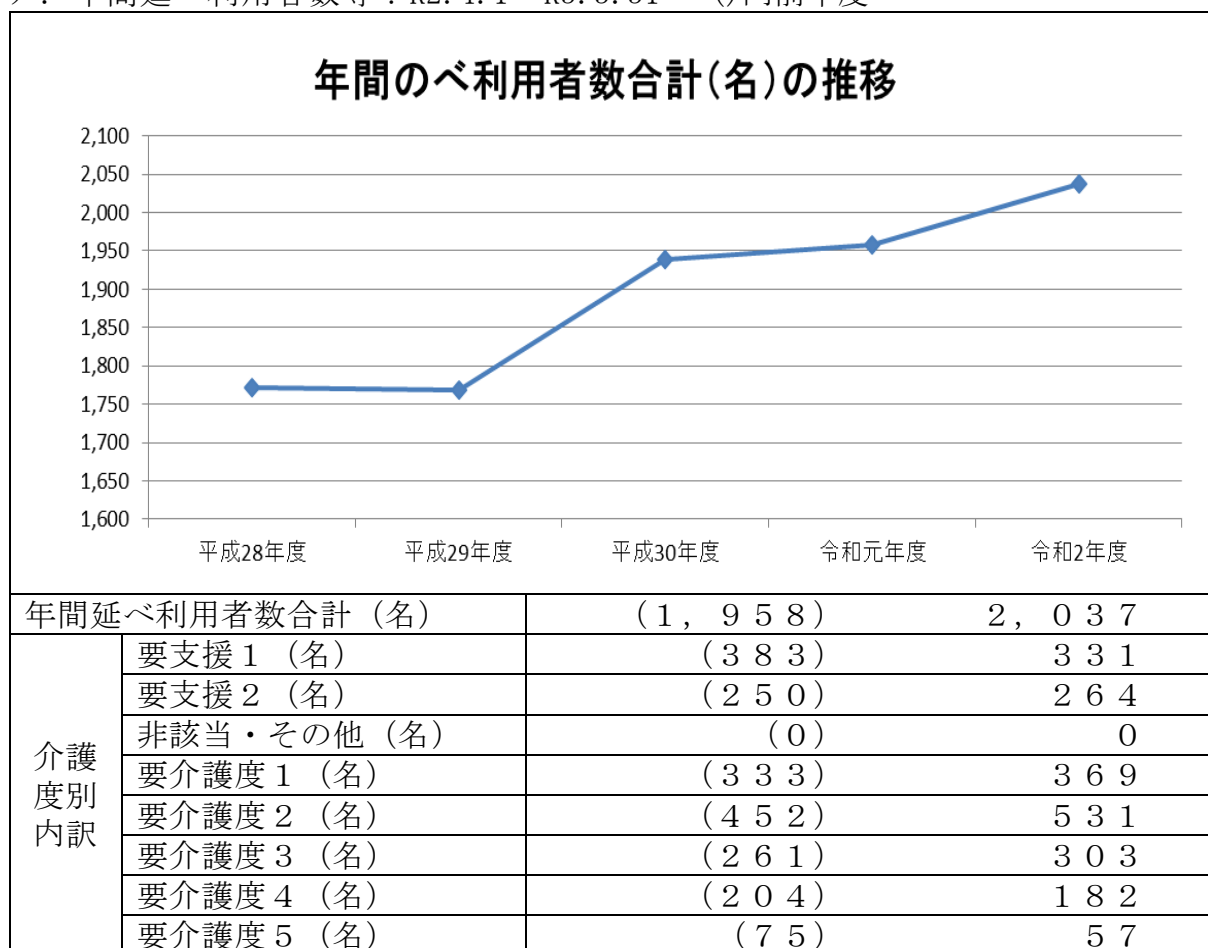
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
家族・家庭問題								2					2	0.16
経済・生活問題			21	11	13	3	9	7	11	7	5		87	7.25
介護サービス	35	45	38	30	29	30	32	28	43	40	59	67	476	39.6
介護予防サービス			1		11	2	5	7	7	36	14	9	92	7.6
総合事業														0
福祉サービス	2	2		5	4		11	8	18	10	1		61	5.08
保健医療サービス	2		3	2	9	1	3	5	2	4	2		33	2.75
虐待	34	21	10	2	8	2	2	3				4	86	7.16
成年後見制度		14	1	8	7	1	6	4			3	1	45	3.75
生きがいづくり							1	1	1			5	8	0.6
その他	2	1						2					5	0.41
合計(件)	83	50	55	76	94	29	66	74	77	82	65	30	781	65.08

ウ. 苦情相談の状況：R2.4.1～R3.3.31 ()内前年度

苦情相談	0 (0件)
------	--------

②居宅介護支援事業

ア. 年間延べ利用者数等：R2.4.1～R3.3.31 ()内前年度



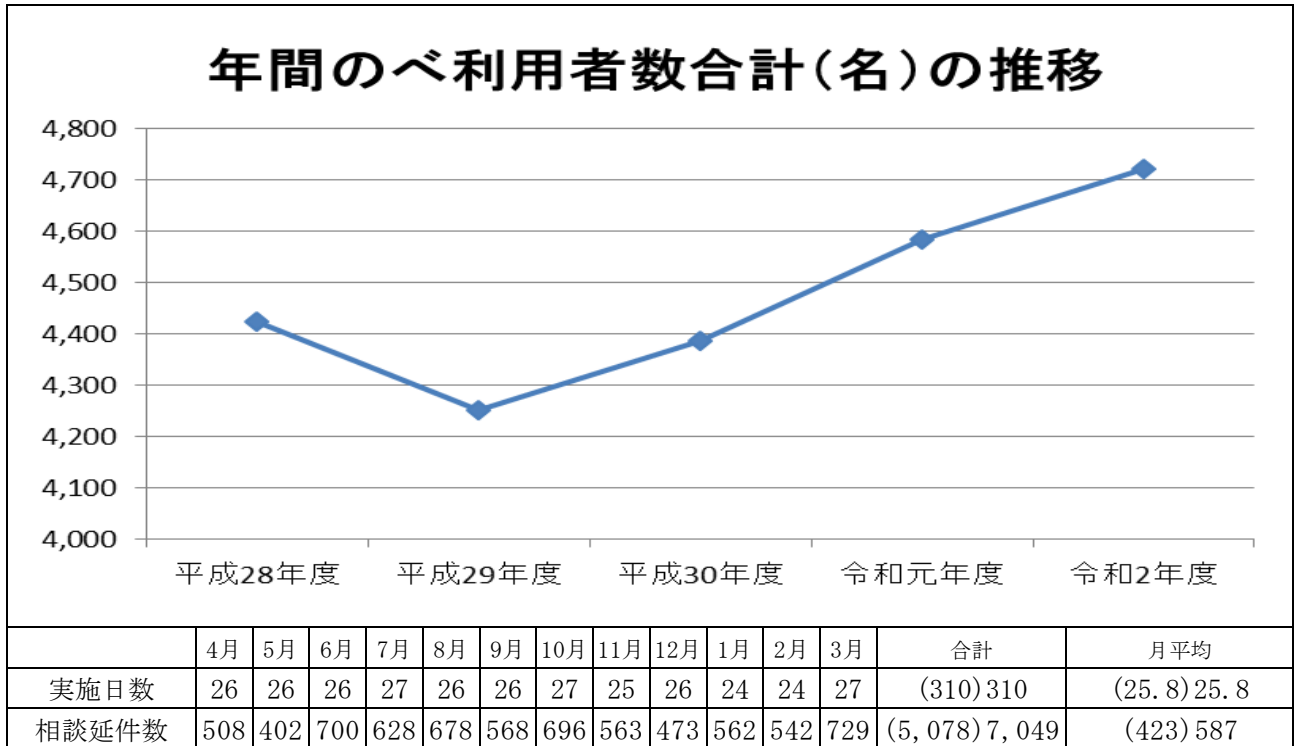
イ. 苦情相談の状況：R2.4.1～R3.3.31 ()内前年度

苦情相談	0件(4件)
------	--------

(5) 地域包括支援センター（中央区北部）

①地域包括介護支援センター事業

ア. 相談事業実施状況：R2. 4. 1～R3. 3. 31 ()内前年度



イ. 相談内容：R2. 4. 1～R3. 3. 31

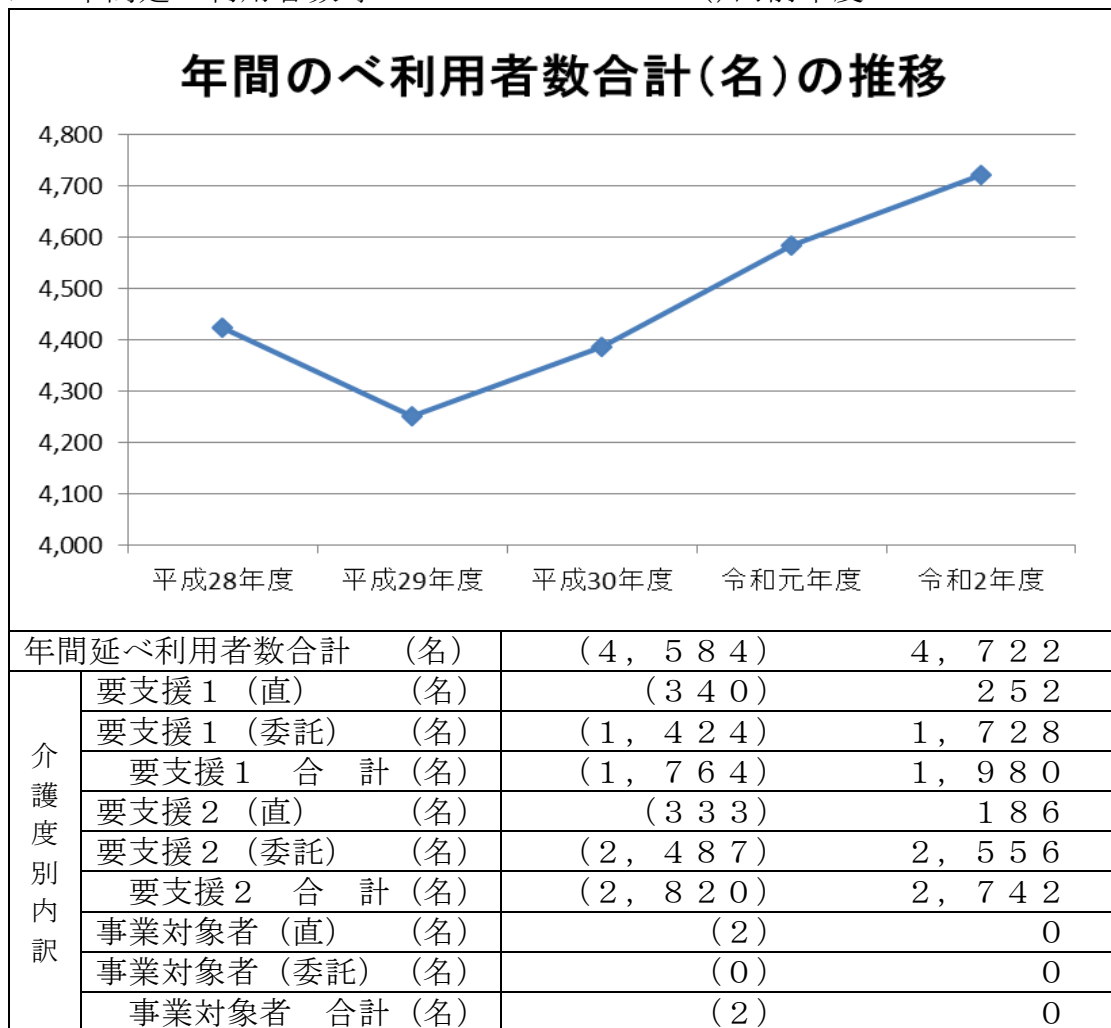
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
家族・家庭問題	8	5	27	6	8	5	9	14	6	2	2	5	97	8.0
経済・生活問題	27	22	55	75	132	76	70	38	48	32	59	57	691	57.5
介護サービス	308	257	311	346	385	305	406	324	279	350	294	351	3916	326.3
介護予防サービス	76	46	109	81	51	80	99	126	79	76	67	202	1092	91.0
介護予防事業・日常生活支援総合事業	9	6	27	39	23	20	8	8	13	3	1	14	171	14.2
福祉サービス	27	32	12	18	29	13	16	4	11	18	21	46	247	20.5
保健医療サービス	29	11	124	40	44	24	16	33	21	67	76	36	521	43.4
虐待	13	10	6	13	1	18	23	12	6	6	4	1	113	9.4
成年後見制度	4	4	14	9	5	8	46	3	8	7	17	17	142	11.8
生きがいづくり	0	1	1	1	0	15	2	1	2	1	1	0	25	2.0
その他	7	8	14	0	0	4	1	0	0	0	0	0	34	2.8
合計(件)	508	402	700	628	678	568	696	563	473	562	542	729	7049	587.4

ウ. 苦情相談の状況：R2. 4. 1～R3. 3. 31 ()内前年度

苦情相談	0件(1件)
------	--------

②介護予防支援事業（第1号介護予防支援事業含む）

ア. 年間延べ利用者数等：R2. 4. 1～R3. 3. 31 （）内前年度



イ. 苦情相談の状況：R2. 4. 1～R3. 3. 31 （）内前年度

苦情相談	3件（4件）
------	--------

(6) 認知症初期集中支援推進事業（中央区北部）

ア. 相談事業実施状況：R2. 4. 1～R3. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
実施日数	25	23	26	25	25	24	27	23	26	23	22	26	295	24.6
相談延件数	218	156	267	265	260	253	230	146	183	224	192	167	2561	213.4

イ. 広報・普及啓発活動実績：R2. 4. 1～R3. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	1	0	3	2	1	2	4	8	5	16	7	3	53	4.4

ウ. 若年認知症についての相談：R2. 4. 1～R3. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	16	1.3

エ. 支援困難症例の主たる支援機関からの相談：R2. 4. 1～R3. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7	0.6

オ. ネットワーク構築のための会議回数：R2. 4. 1～R3. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	1	2	5	10	6	6	12	11	6	9	5	7	80	6.7

カ. 認知症カフェへの側面的支援回数：R2. 4. 1～R3. 3. 31

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
件数	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	4	8	0.7

キ. 苦情相談の状況：R2. 4. 1～R3. 3. 31 ()内前年度

苦情相談	0件(0)件
------	--------

3. 診療所事業

ア. 診療報酬請求件数：R2. 4. 1～R3. 3. 31 ()内前年度

	入所者	職員	合計
年間合計	1,223(1,238)	7(10)	1,230(1,248)
月平均	101.9(103.2)	0.6(0.8)	102.5(104.0)

イ. 健康診断実施状況：R2. 4. 1～R3. 3. 31 ()内前年度

	入所者
年間合計	200(199)
月平均	16.6(16.6)

ウ. インフルエンザ予防接種実施状況：R2. 4. 1～R3. 3. 31 ()内前年度

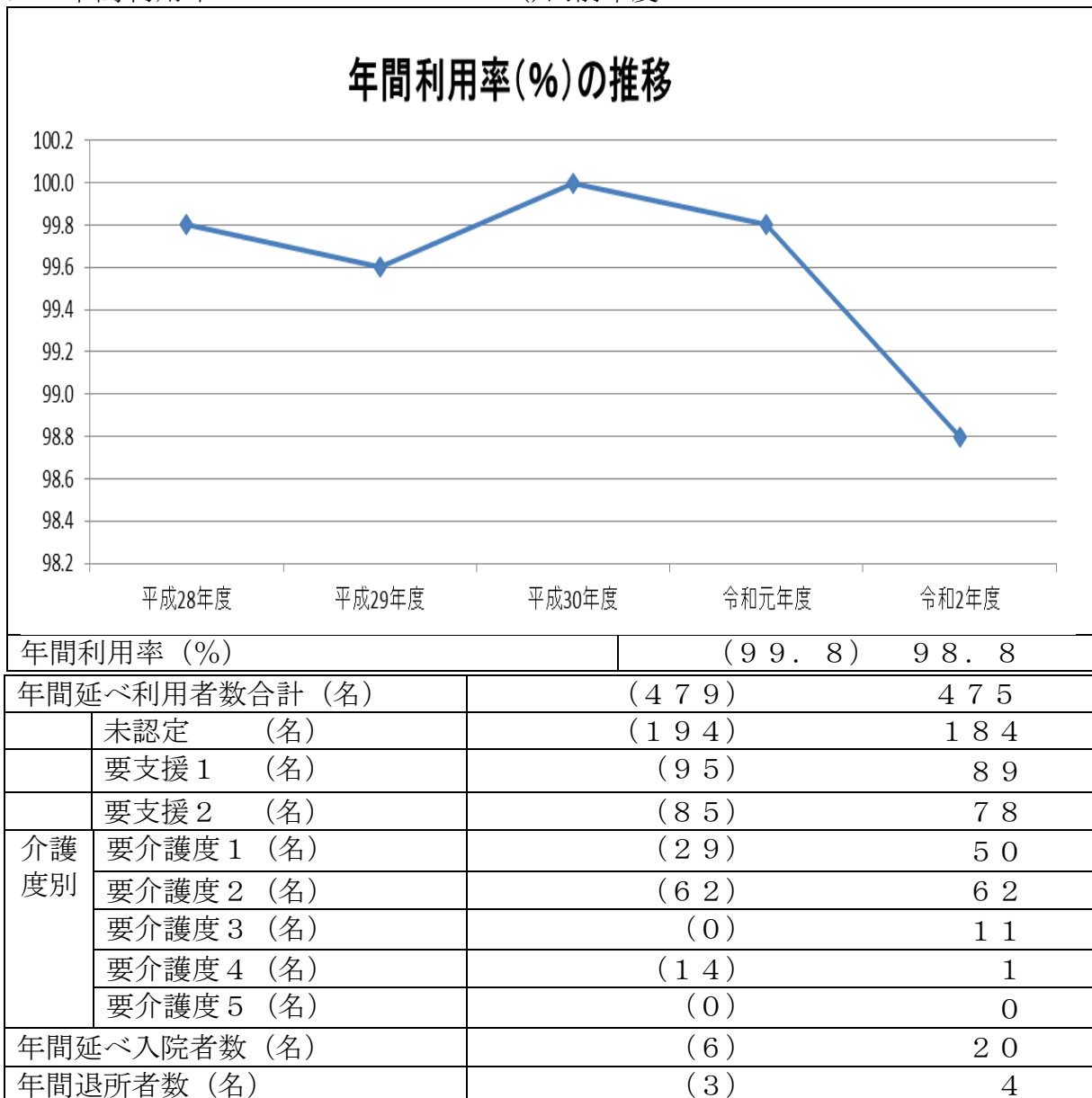
	入所者	職員	合計
年間合計	116(97)	111(135)	227(232)

エ. 肺炎球菌ワクチン接種実施状況：R2. 4. 1～R3. 3. 31 ()内前年度

	入所者
年間合計	8(14)

4. ケアハウス コスモスガーデン

ア. 年間利用率：R2. 4. 1～R3. 3. 31 ()内前年度



イ. 平均年齢：R3. 3. 31 現在 ()内前年度

男性	8名・85.7歳	女性	30名・87.0歳	平均年齢	86.7歳(85.7歳)
----	----------	----	-----------	------	--------------

ウ. 日常生活動作調査 (対象者38名)：R3. 3. 31現在

区分	移動		食事			排泄			入浴		
	自立歩行	補助具使用	自立	一部介助	全部介助	普通	やや不自由	不自由	自立	一部介助	全部介助
実数 (名)	17	21	38	0	0	36	2	0	30	8	0

※補助具使用者とは、歩行時に歩行器・杖・車椅子を使用している者

エ. 面会・来客・外泊状況集計表：R2.4.1～R3.3.31

年間面会・来客回数 ()内前年度

1 1回～	6～10回	3～5回	1～2回	0回
9名 (12)	5名 (4)	6名 (2)	8名 (10)	14

年間外泊回数

1 1回～	6～10回	3～5回	1～2回	0回
0名 (2)	0名 (1)	2名 (3)	4名 (9)	36名 (25)

オ. 主な行事

- 4月 創立記念祭
- 5月 端午の節句祭事食 おでんランチ 自衛消防訓練
- 6月 うどんランチ
- 7月 七夕祭事食 土用丑祭事食
- 8月 納涼祭 (ガーデンバーベキュー)
- 9月 敬老祝賀会
- 10月 お月見祭事食
- 11月 寿司ランチ 焼き芋大会 作品展 (21日～30日) 結核健診
自衛消防訓練
- 12月 クリスマスランチ ゆず湯 年越しそば
- 1月 新年互礼会 七草粥 小豆粥 鏡開き 地震防災訓練
- 2月 節分祭事食
- 3月 ひな祭り祭事食 寿司ランチ

カ. その他

ガーデン体操：年3回 和みカフェ：年1回 芸術クラブ：年2回
誕生日会：月1回 移動図書館：月1回 セレクトメニュー昼食：月1回

キ. 苦情相談の状況：R2.4.1～R3.3.31 ()内前年度

苦情相談	11件 (22件)
------	-----------

5. その他

(1) 研修状況

・施設内研修（基礎研修）

日付	研修名	研修内容	参加者
令和2年 4月15日	利用者のプライバシー保護の取り組みに関する研修	福祉施設職員として、プライバシー保護の重要性を学ぶ	施設長以下計104名 (うち非常勤22名)
4月15日	ターミナルケアに関する研修	高齢者の看取りケアを学ぶ	施設長以下計102名 (うち非常勤20名)
5月20日	食中毒の予防及びまん延防止の研修	食中毒の原因となる細菌と予防を学ぶ	施設長以下計104名 (うち非常勤22名)
5月20日	事故発生防止のための研修	事故を削減するための対応等を学ぶ	施設長以下計105名 (うち非常勤21名)
6月17日	虐待防止のための研修	虐待防止の知識を学ぶ	施設長以下計103名 (うち非常勤22名)
6月17日	身体拘束等の排除の取組に関する研修Ⅰ	身体拘束等の排除のための取組について学ぶ	施設長以下計103名 (うち非常勤22名)
7月22日	事故発生防止	事故発生防止についての基礎知識を学ぶ	施設長以下計94名 (うち非常勤19名)
8月5日	褥瘡研修（ビデオ研修）	褥瘡に関する知識を学ぶ	施設長以下計94名 (うち非常勤22名)
9月16日	医療に関する研修（口腔ケア研修）	口腔ケアに関する知識を学ぶ	施設長以下計97名 (うち非常勤19名)
9月16日	アクションプラン予選会（DVD視聴）	業務改善報告会	施設長以下計82名
10月21日	認知症及び認知症ケアに関する研修	認知症ケアについて学ぶ	施設長以下計94名 (うち非常勤17名)
11月18日	感染症予防及びまん延防止のための研修	施設内感染症制御等を学ぶ	施設長以下計93名 (うち非常勤16名)
12月9日	事故の発生等緊急時の対応に関する研修	事故を削減するための対応等を学ぶ	施設長以下計95名 (うち非常勤18名) 実技研修：7名
令和3年 1月20日	非常災害時の対応に関する研修	非常災害時の対応と備蓄食品等について学ぶ	施設長以下計94名 (うち非常勤17名)
1月20日	身体拘束等の排除の取組に関する研修Ⅱ	身体拘束等の排除のための取組についての学びの振り返り	施設長以下計93名 (うち非常勤17名)
2月8日～ 3月7日	人権研修（ビデオ研修）	人権について学ぶ	施設長以下計90名 (うち非常勤15名)
3月17日	マナー・接遇に関する研修	接遇マナーの基本を学ぶ	施設長以下計94名 (うち非常勤17名)
3月17日	伝達研修	外部研修や外部での取組について伝達する	施設長以下計94名 (うち非常勤17名)

・施設内研修（階層別研修）

①新任職員研修

第1回：4月採用者に3月24日から4月3日の間7日間実施、計1名受講
 4月1日から4月3日の間3日間実施、計1名受講
 合計2名受講
 第2回：6月4日から6月5日の2日間実施 計2名受講

②中堅職員研修 階層別に中堅職員研修を行った。

1) 中堅職員研修Ⅰ（入職2年目の常勤職員） 1クール1日 計4名受講
 2) 中堅職員研修Ⅱ（入職3年以上の常勤職員） 受講者なし
 3) 中堅職員研修Ⅲ（入職5年以上の常勤職員） 1クール1日 計6名受講

③相談員研修

特養、通所介護、ケアハウス、居宅介護支援事業所職員12名に対し、年2回実施、のべ計17名受講

・施設外研修

施設外研修として、各種上部団体主催の研修会にできるかぎり参加。その結果、大阪府社会福祉協議会、大阪市福祉局など計79回の研修に参加した。

(2) ボランティア・実習生受入、体験学習状況

・ボランティア受入状況

①特別養護老人ホーム

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受け入れ制限を行った。

ホーム喫茶の手伝い のべ60人

②通所介護（江之子島コスモス苑デイサービスセンター）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアの受け入れを中止とした。

③認知症対応型通所介護（コスモスのかぜ九条南）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアの受け入れを中止とした。

・実習生受入状況

学校等の名称	実人数	のべ人数	内容(資格等)
関西学院大学	1名	8名	社会福祉士
関西社会福祉専門学校	4名	66名	介護福祉士
関西保育福祉専門学校	10名	146名	介護福祉士
3機関	15名	220名	—

・職場体験（中学2年生）

新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止

(3) 地域貢献活動など

・焼き芋カフェ（地域喫茶）：江之子島コスモス苑

1回開催・17名参加

・お散歩カフェ（地域喫茶）：江之子島コスモス苑

1回開催・10名参加

(4) 寄付金状況(令和2年度分：日付順)

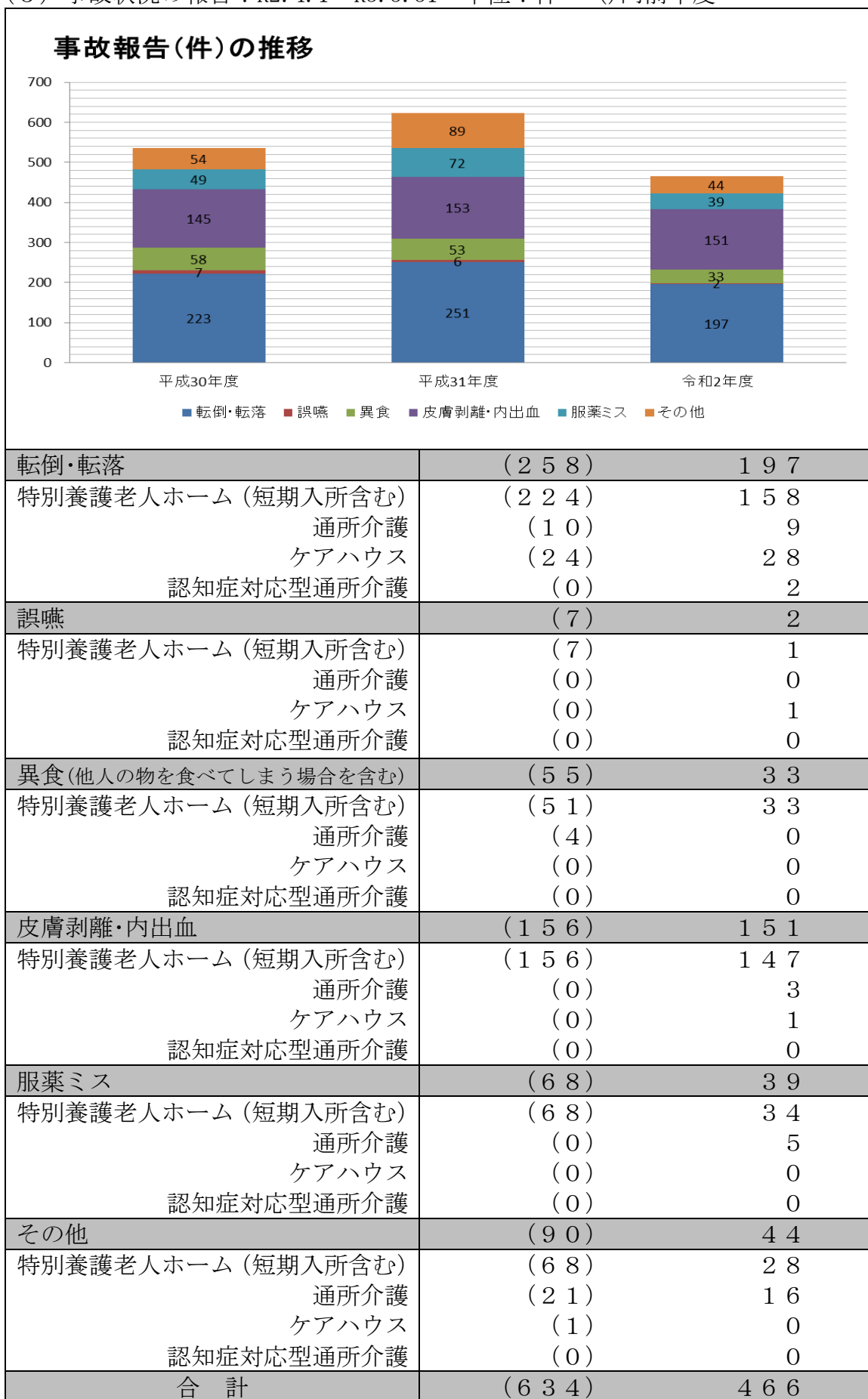
①江之子島コスモス苑

年月日	団体名・氏名	関係	金額	備考
令和2年5月13日	柴田 浩子様	入所者 家族	—	マスク
令和2年5月24日	島崎 聖子様	入所者 家族	—	マスク
令和2年5月26日	桐本 阜三雄様	入所者 家族	500,000円	法人運営費に充当
令和2年5月26日	中嶋 徹様	入所者 家族	100,000円	法人運営費に充当
令和2年6月9日	池田 富美恵様	入所者 家族	—	タオル
令和2年6月17日	石田 洋子様	入所者 家族	—	マスク
令和2年7月22日	小島 栄子様	入所者 家族	—	マスク
令和2年12月16日	柿本 竹彦様	入所者 家族	100,000円	法人運営費に充当
令和3年2月 1日	住友生命保険 相互会社様	法 人	40,000円	法人運営費に充当
令和3年3月27日	江本 直美様	入所者 家族	50,000円	法人運営費に充当

②コスモスガーデン

年月日	団体名・氏名	関係	金額	備考
令和2年9月13日	大田 啓子様	入所者 家族	—	マスク
令和2年9月13日	河野 智子様	入所者 家族	—	手作りマスク カバー

(5) 事故状況の報告：R2. 4. 1～R3. 3. 31 単位：件 ()内前年度



※重大事故4件：4件とも骨折入院（4件：骨折入院）